

令和元年台風第 19 号被害に係る 国及び福島県への要望書



【氾濫した一級河川 阿武隈川（郡山市内）】
（令和元年 10 月 13 日 株式会社スペースワン（本社郡山市 小林康宏社長）撮影）

令和元年 12 月 24 日

郡山市長 品川 萬里

郡山市議会議長 七海 喜久雄

令和元年10月に発生した台風第19号は、県内全域に大雨をもたらし、本市においては、10月12日に降水量185.0ミリメートルと観測史上過去最多を記録しました。

この台風により、一級河川阿武隈川及び支川の決壊や氾濫、1,437ヘクタールもの広範囲に渡る浸水や各地における土砂災害等が発生し、6名の尊い人命が失われるとともに、多くの家屋が浸水するなど、極めて深刻な被害に見舞われました。

今回の被害状況を踏まえ、早期の復旧・復興はもとより、昨今の気候変動に伴う自然災害に対し、市民の安全・安心を図るためには、強靱で持続可能なまちづくりを進めることが重要となります。

つきましては、下記の事項について万全を期し、速やかに実行されるよう強く要望します。

記

- 1 国で管理する河川及び主要幹線道路において、国土強靱化基本計画のもと、改良復旧を実施すること
- 2 福島県で管理する河川及び主要幹線道路において、福島県国土強靱化地域計画のもと、改良復旧を実施すること
- 3 国及び福島県で管理する全ての河川において、河川の氾濫対策として、河道内の支障木の伐採及び河道掘削を実施すること

参考 郡山市内における被災状況

県道小野郡山線 法面崩壊（10月14日現在）



藤田川（県管理河川） 堤防決壊（10月15日時点）

